

小学部「お茶の学習」

宇治支援学校では、卒業後地域で働くこと・生活することを目指し、地域とつながった活動を積極的に取り入れた学習を進めています。今回は小学部の授業の様子をご紹介します。

小学部高学年では、「宇治の地域文化に触れ自分たちの住む地域について知ること」を大きなねらいとして、5年生は「実際にお茶をいれる体験を積むこと」、また6年生は「季節や行事を意識したお茶会を体験すること」「楽しい雰囲気の中でお茶会をすること」をねらいに、『冬の遊び～お茶会をしよう～』の学習に取り組んでいます。5年生はお茶に関するクイズでの学習や、茶葉の手もみを繰り返し行う製茶体験をしました。茶葉が広がる様子をじっくり観察したり、茶葉の香りや煎茶の香り確かめるなど、普段何気なく飲んでいるお茶について改めて学習するよい機会となりました。



6年2組では、抹茶石臼引きや盆点てぼんだ（お盆を使った点前）たてまえ体験を行いました。興味津々で道具を使用し、石臼の重い感触や抹茶の苦い味を実際に体験でき、とても印象に残った様子でした。グリーンティーや紅茶、抹茶など様々な飲み物の色や香りを調べる学習もしました。



そして本校の地域文化学習室という茶室を使用して、地域の講師の方に来て頂き実際のお茶会を体験しました。正座で足がしびれる児童もいましたが、講師の先生の真似をして背筋を伸ばしてお辞儀をしたり抹茶やお菓子を頂いたりすることができました。学習の締めくくりには、保護者のみなさんをお茶会に招待し、煎茶・抹茶を振る舞うことができました。

